

^ 13
3785
28





春女大車一日

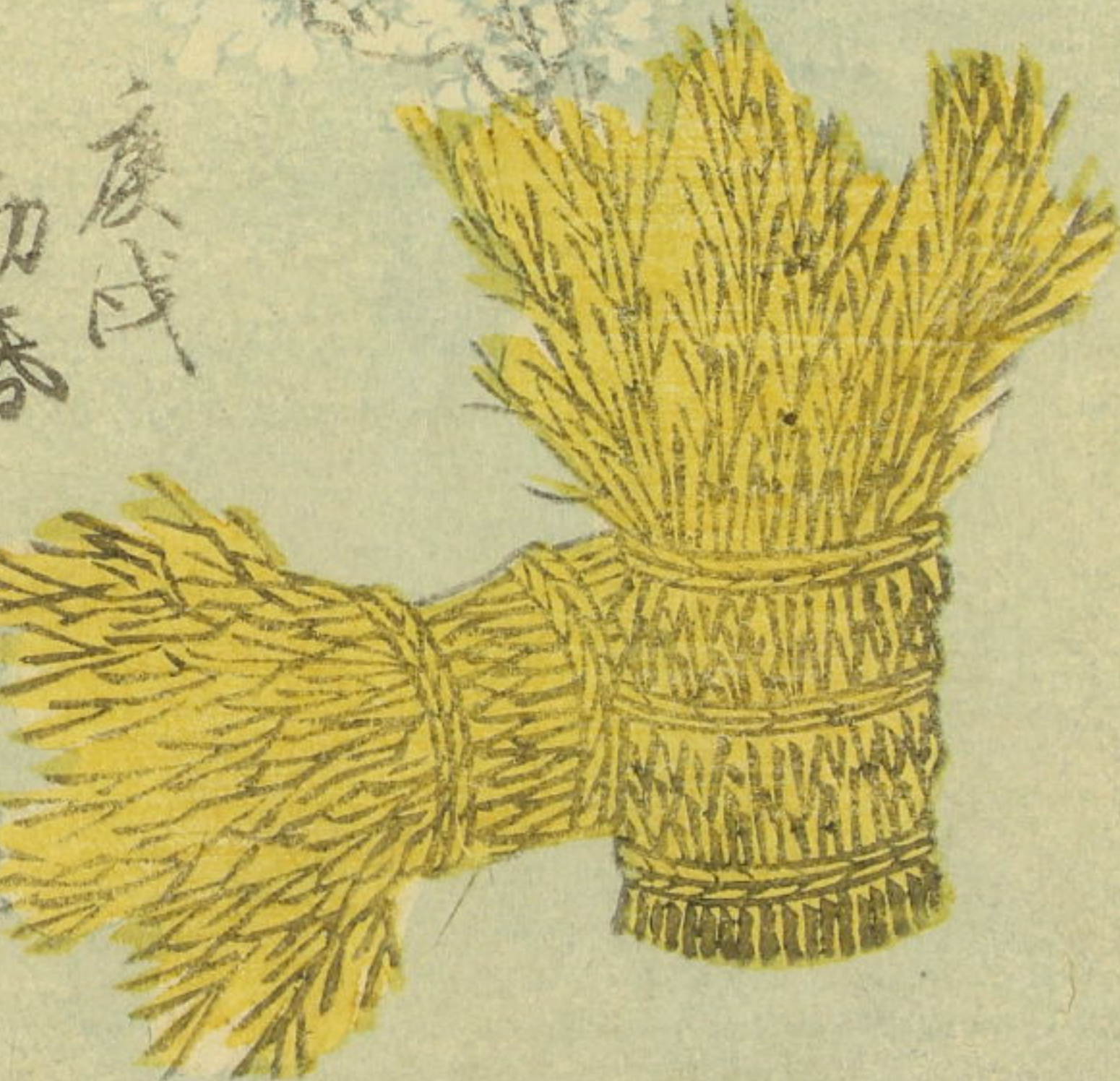
門 へ13  
號 3785  
卷 28

屋満を

ゆん去

十の魚ん

下の巻



意賀化  
壹園画

辰戌  
初春

糸 子 生 梓

口入園画



ふしやうのの  
これらのも  
むらさきのも  
るいせきのも

あいにまを  
かきよにま  
かきよにま  
かきよにま  
かきよにま

かきよにま  
かきよにま  
かきよにま  
かきよにま  
かきよにま



あまはた  
あまはた  
あまはた  
あまはた  
あまはた

あまはた  
あまはた  
あまはた  
あまはた  
あまはた

あまはた  
あまはた  
あまはた  
あまはた  
あまはた



Handwritten text surrounding the illustration, including a square box containing the character '木'. The text consists of several columns of characters in kuzushiji script.



Handwritten text surrounding the illustration of the animal. It includes several columns of kuzushiji script and two square boxes: one containing the character '木' and another containing the character '鳥'.















此の如くは  
 花の如くは  
 春の如くは  
 秋の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは  
 春は花の如くは  
 秋は実の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは

此の如くは  
 花の如くは  
 春の如くは  
 秋の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは  
 春は花の如くは  
 秋は実の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは



此の如くは  
 花の如くは  
 春の如くは  
 秋の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは  
 春は花の如くは  
 秋は実の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは

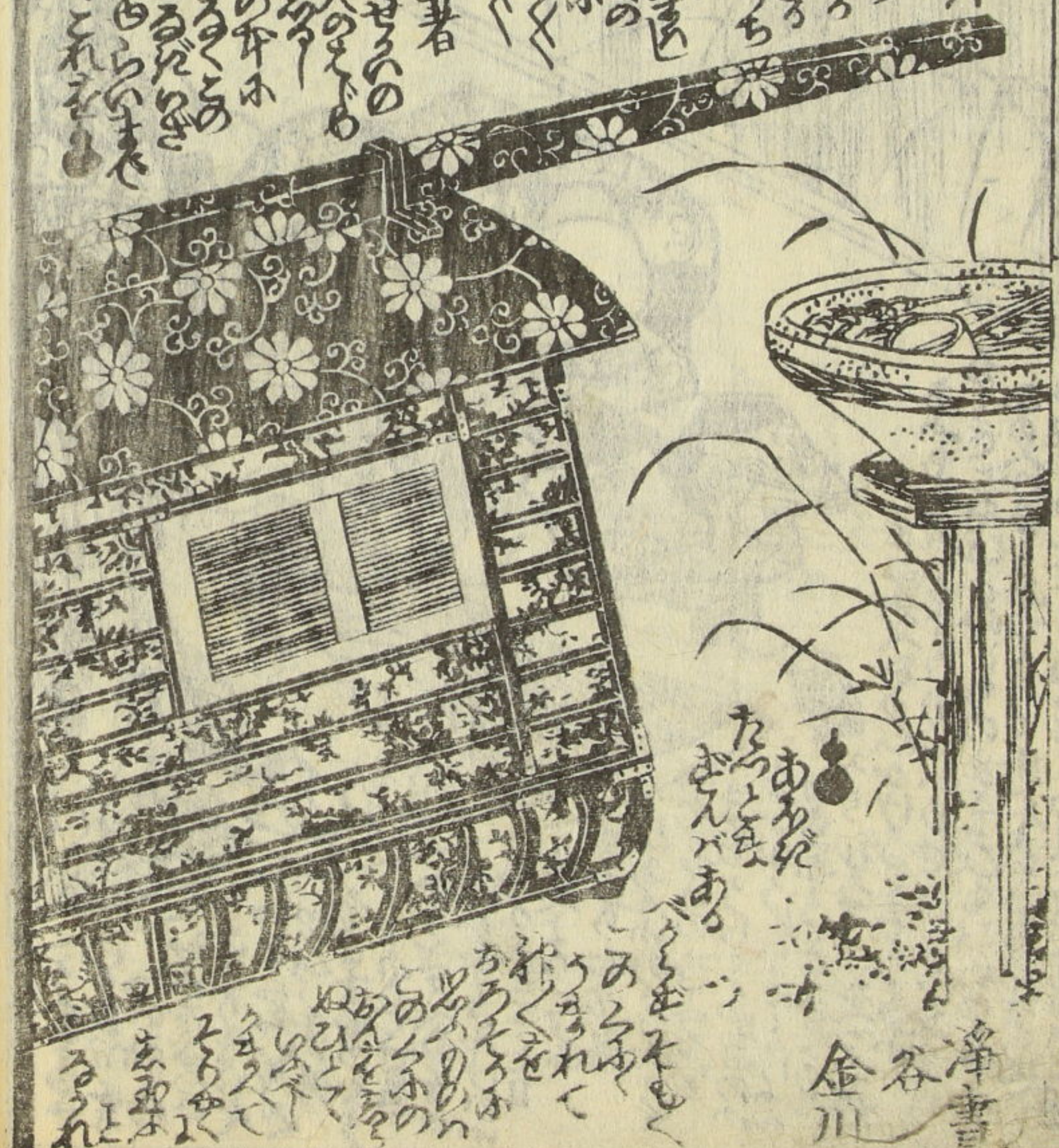
此の如くは  
 花の如くは  
 春の如くは  
 秋の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは  
 春は花の如くは  
 秋は実の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは

此の如くは  
 花の如くは  
 春の如くは  
 秋の如くは  
 冬は雪の如くは  
 夏は雨の如くは



万亭應賀作の一陽齋豊国画

○神編藻鑑草 應賀著  
 このまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 ひらけしとてしるしをてのまゝに記し置ておぼろびの  
 むすくのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 つらやまのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 うまのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 むんをまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 ろとのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 ことごとくまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの



○神編藻鑑草 應賀著  
 このまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 ひらけしとてしるしをてのまゝに記し置ておぼろびの  
 むすくのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 つらやまのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 うまのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 むんをまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 ろとのまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの  
 ことごとくまゝに記し置ておぼろびのまゝに記し置ておぼろびの

倭文庫出世双六  
 一陽齋豊国画  
 万亭應賀作

春の手遊將棊双六  
 同 歌川貞房作

官位昇進出世双六  
 同 歌川芳亮作

奥奉公出世双六  
 一陽齋豊国画

奥奉公出世繪合極彩色  
 此の繪は、奥奉公の出世の事、極彩色にて繪し置てある也。

大寶御江戸圖  
 奉書 六枚半續  
 此の繪は、江戸の御寶の事、奉書にて繪し置てある也。

金車繪双紙水類  
 版元 上州屋重藏

嘉永七甲寅春新板目錄

